

4. 京都薬科大学

テーマ	Excel オンラインを用いた初年次基礎科学実習における実習支援の取り組み		
発表代表者	金瀬 薫	京都薬科大学	学生実習支援センター・助教
連名発表者	高尾 郁子	京都薬科大学	学生実習支援センター・助教
	平山 恵津子	京都薬科大学	学生実習支援センター・助教
	林 美沙	京都薬科大学	学生実習支援センター・助教
	高田 哲也	京都薬科大学	学生実習支援センター・助教
	徳山 友紀	京都薬科大学	学生実習支援センター・助手
	木村 徹	京都薬科大学	学生実習支援センター・准教授
	藤原 洋一	京都薬科大学	学生実習支援センター・教授
キーワード	実験実習		BYOD
	クラウド		フィードバック
発表の概要	<p>本学では、1 年次生を対象に今後の専門薬学実習に必要な基礎的な科学実験の知識・技能習得を目的とした基礎科学実習を行っている。新入学生は大学入学までの実験経験が個々に大きく異なり、さらに本実習では受講生（2023 年度 435 名）を約 70 名ずつ 6 グループに分け約 4 名の教員で指導することから、各々の実験状況を把握しフィードバックを行うことは非常に困難であった。近年本学では ICT を活用することで実験データ等を収集し、学生指導に役立てている。そこで、今年度の基礎科学実習では、本学が Bring Your Own Device (BYOD) に移行したことから、学生自身のスマートフォンやパソコンなどからクラウド上の共有 Excel ファイルにアクセスしデータを入力することで実験データの収集を行い、その結果を元にフィードバックを試みた。本発表では、その実施概要と成果について報告する。</p>		